

ふれあいだより



鳥取大学附属特別支援学校 H23. 11. 30

ふれあいまつり～ひとつひとつの出会いを大切に～

ふれあいまつり担当 梅津 幸子

「みんなでなかよくたのしいふれあいまつり～ひとつひとつの出会いを大切に～」というテーマのもとに、今年もふれあいまつりが開催されました。中学部の力強い元気太鼓、専攻科の集団演技、児童生徒会長の言葉に続き、交流校や地域の方々、保護者など多くの来場者とのふれあいタイムのダンスが行われ、テーマにふさわしいオープニングとなりました。

わくわくいちでは、児童生徒が中心となっておもてなしする中で、子どもたちや来場者の方の間にたくさんの笑顔が生まれました。作品展では、日ごろの学習の成果を多くの方々に知っていただくよい機会となりました。今年は保護者の方々にはゆっくりとまつりを楽しまれ、子どもたちの成長の様子をご覧いただけたのではないかと思います。

また、鳥大生によるマンドリン演奏、おはなし会による紙芝居、懇話会コーラスなど心温まるステージに、そして生き生きとダンス発表する生徒たちにもスポットが当たり、みんなで楽しめるステージ発表だったと思います。

来年度も、児童生徒にとってより有意義な、来場者の方とのふれあいを大切にしまつりとなるように努めていきたいと思います。

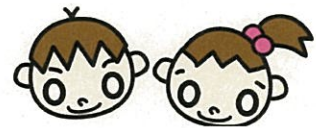


保健室から見えるもの

養護教諭 藤井 真由美

本校の保健室に来て8ヶ月が経ちました。これまでにいくつかの学校の保健室を経験しましたが、この8ヶ月を通して一番に思うことは、悩みや不安、ストレスなどによる頭痛や腹痛を訴える子どもが本当に少ないということです。一般的な頭痛や腹痛を合わせても、すり傷や打撲のほうが多いのです。

「子どもは、親しみに満ちた雰囲気の中で育つと
生きることは楽しいことだと知る。」



アメリカのドロシー・ロー・ノルテの詩の一部です。これを読んだとき、本校の子どもたちのことが真っ先に頭に浮かびました。この学校に来て、友達を思いやる言葉かけをしたり、みんなで一緒にがんばろうとしたりする子どもたちの姿をたくさん見てきました。保健室に来室する必要がないくらい、学校生活を楽しんでいるのではないかと思います。もちろん、それぞれに不安や葛藤もあるはずですが、それを温かく見守り、しっかりと支える家族や先生たちの姿を、子どもたちを通して感じます。

本校の子どもたちを見ていると、元気がでたり、心があたたかくなったりする自分がいます。感謝しつつ、子どもの変化を見逃さないようにアンテナを高くして見ていこうと思います。

修学旅行、楽しい思い出がたくさんできたよ！（小学部）

小学部主事 児島 陽子

小学部 5, 6 年生の 4 名が、10 月 27 日～28 日の 2 日間、姫路・神戸方面へ修学旅行に行きました。2 日間とも雲一つない秋晴れで、子どもたちは元気いっぱい修学旅行を楽しみ、たくさんの思い出を作って帰って来ることができました。

1 日目は、姫路セントラルパークに行き、サファリゾーンをジャンボタクシーで回りました。車の窓から間近に見えるライオンやトラの大きさに「わあ～」と歓声をあげ、キリンやゾウのえさやり体験では、その舌の長さや鼻の器用さにびっくり！恐る恐るえさやりをしました。2 日目の須磨海浜水族園でも、巨大なサメやエイの泳ぎ、かわいいペンギンやラッコのえさを食べる様子を見ることができ大満足！イルカショーではイルカの豪快なジャンプや速い泳ぎに思わず拍手をしていました！

あこがれの「スーパーはくと」に乗って、自分で切符を持って改札を通ったり、事前買い物計画を立てて、3 千円で実際にお土産を買ったり、ホテルに泊まったりして、普段ではできない貴重な体験をいっぱいしました。

修学旅行当日に向けて、5, 6 年生の 4 名で心を合わせて学習をしてきたこと、そして家庭を離れ、友だちと一緒にホテルに泊まり、修学旅行というビッグイベントを成功させたことは、4 名にとって何よりの自信につながったことと思います。この体験を生かして今後もみんないろいろなことにチャレンジしていったほしいと思います。



目標に向かって！校内・外作業実習（中学部）

中学部主事 西尾 敏枝

中学部では、11 月 7 日（月）～11 日（金）に校内・校外作業実習に取り組みました。1 年生は学校作業所で 5 日間作業実習を行います。うぶみ苑・砂丘福祉作業所への見学もし、働いている先輩の姿を見て学習しました。2 年生は前半 2 日間は学校作業所で、そして後半 3 日間は校外で実習を行いました。3 年生は 5 日間それぞれが校外の実習先で働きました。

事前学習では、作業内容や時間の確認・挨拶の仕方を学習するとともに、実習での個人目標を決めます。また、実習の前には通勤練習を兼ねて実習先へ挨拶にも行きました。

作業実習が始まると、どの実習先でもとても緊張している表情の生徒たちでしたが、日が経つにつれて「正確に作業ができるようになりました。」「目標に向かって努力しています。」などの声を職員の方からかけていただき自信となっていました。生徒たちも、「最後まで集中して作業する。」「時間を考えながら作業する。」など、自分で決めた個人目標に向けてがんばっている様子が見られ、とても頼もしく感じられました。



校内作業実習の様子



まとめの会にて

実習が終わると、まとめの会を行いました。「最後まで集中して仕事をがんばれた。」「わからないことがあった時に実習先の人に聞いた。」などの成果や、「いろいろな仕事に挑戦したい。」「来年は（友だちと一緒にでなく）一人で実習に行きたい。」などの来年への課題も聞かれました。

この実習を通して、自分の決めた目標に向かって行動し、自分の仕事に対して振り返って考え、次の目標へとつなげていく生徒たちの姿を見ることができました。この経験を来年、再来年、そして将来の働く生活へとつなげ、将来の生活づくりをしていったほしいと感じた作業実習でした。